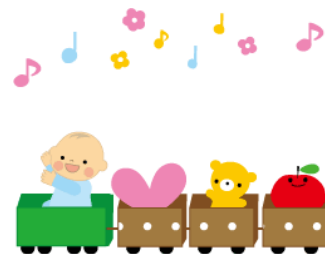




# ほっと安心♡



# もっとつながる

## 子どもに対して



○ほっと安心できるような環境づくり

- ・子どもの思いを温かく受け止め “ほっと” “安心できる場となるように関わる。

○もっと心でつながろう

- ・子ども一人ひとりの発達に合った関わりをするのでより成長していく為の一步へとつないでいく。

## 保護者に対して

○“はじめて”を共有しやすいように

- ・「初めて」の不安な気持ちを出しやすいように。それを受け止めて共に考えていく姿勢を大切にする。

○Personalize（パーソナライズ）（個人向けに合わせる）

- ・各家庭それぞれの事情やそれぞれの個性に合った対応をしていく。

また、それを職員間で共有し、“一貫”した対応で安心感を持ってもらえるようにする。

## 保育者間



○つながろう つながりあおう

- ・出勤日、出勤時間が様々な職員が多いので、情報を発信する側も受け取る側も常に“つながろう”とする意識を持つ。

○シェアリング（共有・分担）

- ・声を出し合う。連携しようとする気持ちを大切に。

（子どもが耳にしている言葉としても心地の良い言葉を用いて）



## 食育

- ・安心できる環境の中でよく遊び、自然にお腹がすき、離乳食を食べる喜びを味わえるようにする。

- ・保護者—保育者—給食室で連携して「安全」を最優先に考慮しながら、離乳食に関わり、進めていく。

- ・離乳食・幼児食について、日々新しい情報が入ってくるため、精査しながら更新すべき分は改めていく。  
また、それをしっかり共有する。

- ・遊びの中で様々な食材に触れる機会を設けて「食べること」へ興味をつなげていく。

- ・特別な配慮を要する子は、安全面の注意を十二分にしておく。